

# 辻泰弘 国会ニュース

つじ や す ひ ろ Kokkai News 2004年11月19日 NO. 34

## 参議院厚生労働委員会(11月16日)質疑報告

### ◎ 会計検査院が全国労働局の検査決定!! (神戸・朝日新聞 11/12)

岸 厚生労働委員長：辻泰弘君の要望を受け、委員長として、会計検査院に対し、全国の労働局を対象とする検査の実施、結果の報告を要請する。

増田 会計検査院第2局長：2005年度末を目途に、全労働局に対する検査を実施し、来年の通常国会中に中間的な説明をすることとしたい。



### ◎ 年金生活者の国保・介護保険料の急増軽減をはかれ!!

辻 泰弘：今年度税制改正で、老年者控除は廃止、公的年金等控除は縮小と年金課税が強化された。所得税は来年から、住民税は再来年から増税。その影響が及ぶ対象者はどのくらいか。

財務省・総務省：年金受給者2500万人中、所得税500万人、住民税400万人程度に影響。

辻 泰弘：年金課税の強化は国保・介護の保険料負担増加につながる。前厚労大臣は、それらの負担につき配慮したいと答え、現大臣も後退させないと述べたが、具体的にどうするのか。

尾辻 厚生労働大臣：介護については、きめ細かな保険料段階の設定を可能とするよう検討している。国保については、緩和措置を講じるべきかどうか検討することが必要。

辻 泰弘：国保も介護も主体は地方だが、前大臣は地方と調整したいと述べた。約束を守れ。

### ◎ 経済社会の現状に合わない雇用対策基本計画を改めよ!!

辻 泰弘：前回の質問で求めた1999年8月策定の雇用対策基本計画の改定にどう取り組むか。

尾辻 厚生労働大臣：官僚は、雇用計画は12年もたせるつもりと説明する。こんな日進月歩の時代に12年もたせるのはどうかと疑問を呈した。官僚は新しい検討を始めた雇用政策研究会などの結果次第で考えたいと言っている。しばらく省内の議論を待って頂きたい。

### ◎ 社会保障の給付額を経済成長の範囲内に抑える考え方は誤り!!

辻 泰弘：「改正年金法による給付額は経済成長の伸び率とぴたり合う。年金のようなやり方で抑えていけば全体の社会保障費の伸びも抑制できる」と大臣は発言。物価・賃金の変動が影響する年金は、ある程度経済成長とリンクするが、医者に行くかどうか、要介護になるかどうかは経済とは関係がない。医療や介護を経済成長と連動させて考えるのか。

尾辻 厚生労働大臣：医療費と経済の伸びは結びつくものではないと考える。表現がまずかった。

### ◎ 権限を持つ大臣がたった1カ月で「無力」などと言うな!!

辻 泰弘：労組法改正審議の際、大臣は、「大臣になり自分が無力なことに腹が立つ」と発言。

時間をかけ、一生懸命やった結果ならわかるが、大臣になってたった1カ月。厚労大臣は政府の重要な閣僚。権限もある。自分は無力などと言わず、力の限りやれ。必ずできることがある。

尾辻 厚生労働大臣：誤解を与えて申し訳ないと思う。

ご意見・ご要望等は下記までお気軽にご連絡ください。